

平成28年度
市立図書館の絵本貸し出し
ランキング

1位 ぐりとぐら

作/中川李枝子 絵/大村百合子
出版社/福音館書店



2位 そらまめくんと
めだかのこ

作/なかやみわ 出版社/福音館書店



3位 たのしいいちにち
(はじめてのこぐまちゃん)

作/若山憲 出版社/こぐま社



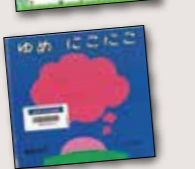
4位 わたしのワンピース

作/にしまさかやこ 出版社/こぐま社



5位 ゆめ にここ

作/柳原良平 出版社/こぐま社



- ①読み聞かせを始めると赤ちゃんは絵本に興味津々
- ②読み聞かせのアドバイスや絵本の選び方を説明
- ③絵本2冊と冊子などを無料で配布



絵本の世界へ 出かけよう

子どもの感性や、想像力を豊かにしてくれる絵本。読み聞かせによって、子どもの大切な時間も生まれます。絵本週間に合わせて、絵本に関する市の取り組みや図書館の紹介をします。

問い合わせ 市立図書館 ☎42・8000

3月27日～4月9日
絵本週間とは

「にんぎょひめ」や「雪の女王」などで有名な童話作家アンデルセン。その誕生日の4月2日は「国際子どもの本の日」です。絵本週間とは、4月2日の前後2週間の3月27日から4月9日までをさします。より優れた絵本文化の発展と、教育の場や家庭にいつそう絵本が定着することを願って、全国学校図書館協議会が設けました。

絵本と出会う ブックスタート

市では、生後4カ月児健診の際に絵本をプレゼントするブックスタートを行っています。平成14年度から始まり、これまでにおよそ7000人の赤ちゃんに絵本をプレゼントしました。実施率は県内でもトップレベルの99%を誇ります。ブックスタートでは、赤ちゃんとその保護者を対象に、共に絵本を開く時間の楽しさを実際に体験してもらいます。ブックスタートには、絵本を通して赤ちゃんとの触れ合いの時間を持つてほしい、そんな願いを込められています。

まだ字を読んだり、言葉の意味を理解したりするのは難しい赤ちゃんでも、それぞれの方法で絵本を楽しんでいます。絵本をじっくり見つめたり、ページをめくるたびに笑ったりする赤ちゃんの姿に、保護者も驚き、笑みを浮かべます。赤ちゃんに絵本を開く楽しさを分かち合うひと時です。

福津の歴史を布絵本で紹介

布絵本を作って、市立図書館で貸し出しています。2016年の手づくり絵本全国コンクールで「つやざきの六人士」が佳作を受賞しました。

おすすめの絵本 つやざきの六人士
作/津屋崎布絵本の会
絵/ひろかどしろうこ

▲津屋崎布絵本の会 代表 富永裕子さん

絵本で想像力を豊かに

市立図書館や小学校などで昔話の語りや絵本の読み聞かせをしています。読み聞かせを通して、子どもが絵本の世界に入り込む姿が印象的です。

おすすめの絵本 ふゆめがっしょうだん
写真/富成忠夫、茂木透
文/長新太

▲ふくつ語りの会 代表 青柳里香さん

絵本と触れるきっかけ作り

市子ども読書連絡協議会は市内で絵本の読み聞かせなどをする18団体の組織です。図書館や小・中学校などで、子どもと本を結ぶお手伝いをします。

おすすめの絵本 ラチとらいおん
文・絵/マレーク・ペロニカ
訳/徳永康元

▲市子ども読書連絡協議会 会長 佐伯美保さん

絵本の魅力を伝える人たち

市内で絵本に関する活動に取り組む3人にお話を聞きました。

▲アンデルセンの絵本

図書館の利用案内

利用カード

市立図書館とカメラアステージ図書館で共通です。免許証や保険証など本人確認ができるものを持って、カウンターで手続きしてください。即日発行します。

貸出冊数・期間

2館合計で 本、雑誌…期間内に読み切れる冊数 / 15日間
CD、DVD…1人2点まで / 8日間

返却

どちらの図書館でも返却できます。本に限り、閉館時は玄関の本のポストを利用できます。また、本の返却のみ、JR福間駅のふっくるの本の返却ポストも利用できます。
※休館日は、広報おしらせ版の折り込みカレンダーに掲載しています

市立図書館

開館時間 10:00~18:00

休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の時は次の平日）、毎月最終木曜日、年末年始、図書整理期間

蔵書数

本、雑誌、視聴覚資料合わせて21万4,445点
うち絵本は1万6,071点（平成28年度現在）



▲市立図書館 堤美弥子

絵本は内容が分かりやすいように表紙を見せて並べています。

カメラアステージ図書館

開館時間 11:00~21:00

休館日

毎週火曜日（火曜日が祝日の時は次の平日）、毎月最終水曜日、年末年始、図書整理期間

蔵書数

本、雑誌、視聴覚資料合わせて3万7,800点
うち絵本は3,646点（2月10日現在）



▲カメラアステージ図書館 藤江淳子

絵本作家の旅コーナーで毎月国内外の著者の絵本を紹介しています。

絵本を見つける 福津の図書館

市内には、市役所に隣接する市立図書館と、昨年7月に旧津屋崎庁舎を改修してオープンしたカメラアステージ図書館の2つの図書館があります。毎日多くの利用者でにぎわう館内には、子どもたちの姿もよく見られます。たくさんのお絵本が並ぶ児童書コーナーでは、赤ちゃんの絵本や、乗り物の絵本、知識の絵本など、ジャンル別に絵本を探すことができます。中でも、特に図書館がおすすめしている絵本はたくさん所蔵している、より多くの子どもに手に取ってもらえるように工夫しています。季節や行事に合わせた特集コーナーもあり、さまざまな絵本との出会いを応援しています。

また、好きな絵本があれば、気軽に手に取って読み聞かせをすることもできます。市立図書館のおはなしのへやや、カメラアステージ図書館の「親子読書室」と「子育て室」は、子どもと靴を脱いでくつろぎながら絵本の読み聞かせができるスペースです。特に休日はたくさんの方が利用しています。皆さんもお気に入りの絵本を探しに、図書館へ出かけてみてください。



- ①市立図書館の児童書コーナー
- ②市立図書館の特集コーナー
- ③カメラアステージ図書館の親子読書室
- ④市立図書館でのおはなし会。0歳の子どもから参加できるおはなし会もあります



絵本に触れる おはなし会

市立図書館では、子どもたちが絵本とたくさん触れ合うことができるよう、さまざまな取り組みを行っています。中でも児童書コーナーの奥にある「おはなしのへや」では、市内で活動するさまざまな読書ボランティア団体が、子どもたちに読み聞かせなどのおはなし会を行っています。

絵本の読み聞かせは、子どもと本をつなぐきっかけになり、子どもたちがお話の世界を体験することができます。0歳の子どもからでも楽しめるように、絵本の読み聞かせだけでなく手遊びやわらべ歌を取り入れるなど、おはなし会によってさまざまな取り組みが行われています。また、参加した子ども同士や保護者同士でのつながりも生まれ、交流の場にもなっています。

また、好きな絵本があれば、気軽に手に取って読み聞かせをすることもできます。市立図書館のおはなしのへやや、カメラアステージ図書館の「親子読書室」と「子育て室」は、子どもと靴を脱いでくつろぎながら絵本の読み聞かせができるスペースです。特に休日はたくさんの方が利用しています。皆さんもお気に入りの絵本を探しに、図書館へ出かけてみてください。

図書館を利用する人たち

市立図書館に本を借りに来た人たちを紹介します。

月に1〜2回本を借りに来ます。図書館の読み聞かせイベントも楽しみにしています。



▲右から石井瑚子ちゃん、颯ちゃん、宙ちゃん（桜川区）

家で毎日10冊くらい絵本を読み聞かせています。図書館でも子どもが好きな絵本を読んでもらいます。



▲右から貞光紀美子さん、彩音ちゃん（若木台2区）

孫のために絵本や紙芝居を借りています。少しでも本が好きになってくれたらうれしいです。



▲大倉 邦博さん（星ヶ丘区）